

お勧め がん検査

肺がん(ヘリカルCT)検査

肺がん
発見法

健診で行われる通常の胸部エックス線撮影では発見が難しい、早期の肺がんを調べることが可能です。

胃がんスクリーニング検査 ペプシゲン(PG)と ヘリコバクターピロリIgG抗体(HP)

胃がん
発見法

●(PG):胃粘膜の萎縮性変化が分かります。

多くの胃がんは胃粘膜の萎縮を経て発生すると考えられているので、早期の胃がんの発見率が向上します。

●(HP):ピロリ菌に感染しているかが分かります。

ピロリ菌は、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の主な原因と考えられています。ピロリ菌感染により慢性胃炎が続くと、胃粘膜の萎縮を起こし胃がんの発生率も高くなることが知られています。

胃内視鏡検査 胃バリウム検査に代えて

胃がん
発見法

毎年バリウム検査で異常を指摘されてしまう方、胃の症状がある方、ピロリ菌感染されている方は内視鏡検査をお勧めします。

男性のみなさん！！

PSA検査

前立腺がん
発見法

PSAは前立腺がんの腫瘍マーカーです。前年度正常範囲の値でも、高めの場合は、毎年PSA検査を受けることが望ましいとされています。

女性のみなさん！！

CA-125検査

卵巣がん
発見法

CA125は卵巣がんの腫瘍マーカーです。卵巣がんの他、子宮内膜症、子宮筋腫で高くなります。(月経時や妊娠初期、胸膜炎などでも高くなる場合があります。)

マンモグラフィー検査

乳がん
発見法

マンモグラフィーは放射線撮影になります。乳房を機器ではさんで検査します。がんや石灰化などの診断に役立ちます。



乳がんの早期発見のためには、自己触診も行っていきましょう。

是非受けていただきたい方！

- ・長引く咳、痰など呼吸器症状がある方
- ・胸や背中中の痛みが続いている方

<<次のような方もぜひおすすめですよ！>>

- ・喫煙されている方、喫煙歴がある方
- ・中・高齢者
- ・肺がんの家族歴がある方



胃がんスクリーニング検査でわかる胃の健康度

	HP陰性	HP陽性
PG陰性	Aタイプ	Bタイプ
PG陽性	Dタイプ	Cタイプ

Aタイプ 健康的な胃粘膜。胃疾患になりにくいタイプ

Bタイプ 潰瘍などの胃疾患になりやすいタイプ。胃内視鏡検査や除菌をおすすめします。

C・Dタイプ 胃がんなどの胃疾患になりやすいタイプ。胃内視鏡検査やCタイプの方は除菌をおすすめします。

PSA検査の適齢期！

- ・50歳以上の男性は検査を受けましょう
- ・40歳以上で、前立腺がんの家族歴のある方も受けましょう。

<<次のような方もぜひおすすめですよ！>>

- ・尿の出が悪い
 - ・尿の回数が多い
 - ・血尿が出る
- などの症状のある方

HPV検査

子宮がん
発見法

子宮がんの原因として、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染があります。このウイルスに感染しているかがわかる検査です。

乳腺超音波検査

乳がん
発見法

乳腺超音波検査は、がんとの識別が難しい乳腺症や、嚢胞などの診断にも役立ちます。

マンモグラフィーと異なり、放射線撮影ではありません。30~40歳代は超音波検査とマンモグラフィーの併用が望ましいです。